



ほけんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年7月1日
下小田中保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後の気温の高い日は、体が暑さに慣れていないため熱中症に注意が必要です。水分補給や体調管理に気をつけましょう。暑いからと室内ばかりで過ごさずに、涼しい時間帯には短時間の外遊びをするなど、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

夏に多い感染症



咽頭結膜熱(プール熱)

原因: アデノウイルスによる飛沫・接触感染。

目やにや便からうつることもある。

症状: 39℃前後の発熱とのどの痛みがあり、目のかゆみや痛み、充血、涙など結膜炎の症状が出るのが特徴です。

★登園には医師の許可書が必要となります。

流行性角結膜炎(はやり目)

原因: アデノウイルスの接触・飛沫感染。

症状: 瞼の腫れや異物感、痛み、充血、目やにや発熱、下痢を伴うこともある。

★感染力が強く、プールだけでなくタオルの共有や手指の接触によっても感染する。

★登園には医師の許可書が必要となります。

手足口病

原因: コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状: 熱や手のひらや足の裏、口の中に小さな水ぼうや発しんができる。

★登園許可書は不要です。まれに髄膜炎などの合併症をおこすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う熱が続くときは、すぐに受診しましょう。

ヘルパンギーナ

原因: コクサッキーウイルスなどの飛沫感染。

症状: 高熱、のどの痛みが特徴です。のどに水ぼうやや潰瘍ができて痛みがひどく、水分もとれなくなることもある。

★登園許可書は不要ですが、食事や水分が十分に取れるまでは自宅で過ごすことをお勧めします。

皮膚トラブル: 子どもは皮膚バリアが未熟で汗が多いため多く見られます。



虫刺され

肌には…虫よけスプレー
(イカリジン入りスプレー)

室内には…ベープ

室外には…蚊取り線香

肌の露出をなるべく避ける事も虫よけ対策になります。これらの対策をしていますが、それでも蚊に刺されてしまった時は…

水洗い後、必要時、かゆみ止めの薬で対応しています。お子さんによっては、掻きすぎて腫れてしまうこともあります。悪化する前に医療機関を受診し、早めに適切な対応をお願いします。



とびひ(化膿性膿痂疹)

接触によってうつり、火事の飛び火のように広がることから「とびひ」と呼ばれます。

あせも、虫さされ、すり傷などを爪でかくと、皮膚の表面に細菌が付着して増殖し、皮膚がジュクジュクしたり、水ぶくれやかさぶたになったりします。鼻の中に原因となる細菌があるので、いつの間にか広がります。痒みが強く、感染力が強いので早めに医療機関を受診してください。処置内容など、医師からの指示を保育園にもお伝えください。また、顔や頭、広範囲などで、ガーゼで覆いきれない場合、集団生活が困難になる場合もありますので、ご相談ください。